



手のひら通信

お問い合わせ
手のひらに太陽の家
 宮城県登米市登米町寺池
 辺室山17番地1
 0220-23-9755(Tel)
 0220-23-9756(Fax)
 info@taiyounoie.org
 http://taiyounoie.org/



春休みの手のひらに太陽の家は、毎日がお祭り騒ぎの様な賑やかさ！

そんな中に飛び込んで来てくれた、山口県立大学の女子大生。山口の和菓子を支援して下さり、それも持参して下さいました。口に入っても安全な小麦粘土作り、段ボールを使ったフォトフレーム作りなど子ども達に楽しんでたまたまならい時間のプレゼント。遠くから本当にありがとうございます。

(文・佐藤)



小さな優しいたくさん

の明かりが灯り、手のひらに太陽の家が静寂に包まれた夜。そこに神戸松陰高校と仙台白百合学園高校のお姉さん達手作りのキャンドルが置かれました。生徒さん達が歌う「福島へ行こう」の応援歌が流れ、いつもは賑やかな子ども達も静かに歌に聞き入り、お姉さん達の思いを受け止めていたようです。昼は外でいっぱい遊び、クッキー作りやゲームも楽しみ、思い出に残る2日間を過ごしました。

(文・細木)



手のひらに太陽の家の庭

に、子ども達が遊べるトンボ池ビオトープを造ることにになりました。株式会社コーセイ様の支援で実現するには地元の方と利用者さんで、ビオトープのデザインを考えて行きました。8月の入水式に向けてこれから少しずつみんなで造っていきます。多くの人の癒しになる場になったら良いですね。

(文・菅邊)



この春休み、手のひらに太陽の家のリピーターさんがキャラ弁作り教室を開い

て下さいました。このような利用者さん同士の交流もとても良いなと感じたひと時。また教えて下さいね！

(文・佐藤)



東和町で採れた大豆を使って味噌作りを行いました。皆さん自分の手で作った味噌にご満悦。半年後食べられるそう。さどんな味噌になっていくかな？

(文・高橋)



地元の神楽保存会の皆様が神楽を舞って下さいました。「目の前で見ると神楽の迫力はすごいね。」と観賞した利用者さんはとっても感動していました。本当にありがとうございます。

(文・菅邊)

小さな旅 手のひらに太陽の家から、こんにちは ～利用者の方々より～

いつもは「放射能が高いから」と触れない物を自由に触れるので、子どもが活き活きして見えました。外で思いっきり走ったり、木や草や土を普通に触れる幸せを感じました。放射能のない場所に子どもが行ける場所があるだけで、私達は安心します。

(伊達市 四十代)

放射能のストレスは子どもをこんなにも遠くしているんだなあと感じました。私も目を光らせて「ダメー！」と言わなくていいのがとても案で心穏やかに過ごせました。期間が決められていなくて、年齢制限もなく、普段とそんなに変わりなく生活できる太陽の家は最高です。他の保養は普段とあまりにも違って、外で遊べてもすごく疲れることがあります。保養がどんどん減っていくたびに福島で心が沈みます。「太陽の家があるから大丈夫！」とずっと心の支えになって下さい。

(福島市 三十代女性)



日常生活の中でのストレスや心のどこかで気がかかっている放射能の不安を全く感じること無く過ごせたので、気持ちが安定して心身のリフレッシュになりました。お母さん達との交流、スタッフの方々といるいるの話をしたり笑ったり、飲んだり楽しい一週間でした。放射能の問題は終わりが無いと思うので、太陽の家のようなフレッシュができるオアシスのような場所は絶対に必要だと思います。

(伊達市 四十代女性)

(→岡谷地南部神楽)



あのピタゴラスイッチの楽曲など数々の有名作品を作られた栗コーダカルテットさんが、ミニコンサートを開いて下さいました。栗コーダーカルテットさん達のオーラと曲が手のひらに太陽の家にびったり溶け込んでいて、絵本を見ているかのような温かく楽しい時間でした。初めて見る楽器、どこかで聞いたことのある曲など、子ども達の目は最後までキラキラしていました。

(文・佐藤)





* 5月の予定*

*5月1日の誕生花は、『鈴蘭(すずらん)』 花言葉は『幸せの再来・純粋 などなど…』

***まめ知識** 名前にランとつきますが、実はユリの仲間。葉っぱがランの仲間に似ていることからこの名前がつきました。英名は『Lily of the valley』で谷間のユリの花という意味。園芸としてドイツスズランが広く親しまれています。ヨーロッパでは5月1日にスズランを飾ると幸せな1年になると言い伝えがあるそうです。日本に自生しているスズランは別名、『君影草(きみかげそう)』と呼ばれています。名前の由来として、ひっそりと咲く小さな鈴のような花が、頭を垂れて愛する人を待ち続けているように見えるという説がありますが、本当のところはわかっていません。実際に見て、確かめてみたいですね。

イベント名	日時	内容
春の栗駒山キャンプ	3日～5日	株式会社銀河自然学舎の方が手のひらに太陽の家の利用者さんを対象に保養キャンプを開催して下さいます。(※詳細は、手のひらスタッフまで。)
小林先生健康相談会	13日 終日	福島の精神科医小林先生が利用者の方の健康相談と心のケアを行って下さいます。
森のようちえん	15日 10時～15時	毎月、登米市内の自然の中を親子で散歩しています。お花もたくさん出てくる季節になりました。今月はいろんな花を見られたら良いと思っています。
ピオトーブ作りWS	17日～19日	前回のWSの内容で作成された設計図を元に池を作っていきます。今回は池の中の石拾いを行います。

※イベントへの参加ご希望・参加費につきましては「手のひらに太陽の家」へお問い合わせ下さい。 ☎0220-23-9755

日影良孝建築アトリエ

日頃のご支援ご協力、誠にありがとうございます。



支援団体の紹介

茅葺き屋根を思わせる大きな屋根、つい登ってみたいくなる短い階段、大きなジャングルジムのような2階兼屋根裏…。手のひらに太陽の家には、そんな素晴らしい技や工夫が所々に溶け込んでいきます。そんな手のひらに太陽の家の設計を行って下さったのは日影建築アトリエの日影良孝さま。手のひらに太陽の家のできる大きな影のように、利用者さんの生活を静かに守ってくれています。本当にありがとうございます。

● 連絡先

〒247-0062 神奈川県鎌倉市山ノ内 999
電話：0467-84-9752 FAX：0467-84-9753

手のひらに太陽の家基金 ～ご支援のお願い～

手のひらに太陽の家では東日本大震災により生活が困難になってしまった家族、特に放射線量の高い地域での生活を強いられている子どもたちを支援します。今も自然の中で存分に遊ぶことも出来ず、心身に大きなストレスを抱えている子どもたちがたくさんいるのが現実です。

7月21日の開所から、のべ100組のご家族に手のひらに太陽の家をご利用いただきました。(平成25年3月20日) 今後、継続して活動を行っていくためには、皆様のご支援が必要です。1人でも多くの子どもたちを笑顔にするために、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【銀行名】 七十七銀行(シチジュウシチギンコウ) 築館(ツキダテ)支店 店コード700
【口座番号】 普通預金 5411882
【口座名義】 手のひらに太陽の家太陽の家基金
理事長 佐々木豊志(ササキトヨシ)

手のひらに太陽の家公式サイトよりクレジットカードでご寄付いただける【オンライン寄付】や、毎月継続してご支援いただける【マンスリーサポーター】もあります。

詳しくはHPまで*「手のひらに太陽の家」で検索!